

おわりに

慶應義塾大学 薬学部 教授

はせ こうじ
長谷 耕二

メタゲノムやメタボロームなどオミクス解析技術の進歩により、マイクロバイオームの実体が明らかになりつつある。その結果、マイクロバイオームと疾患の相関関係を示すデータが数多く認められる。しかしながら、現時点では直接的なエビデンスに欠ける事象も多く、マイクロバイオームと宿主の相互作用に関するメカニズムの解明が求められる。本セミナーは、最先端の研究者を招聘し、マイクロバイオームの俯瞰、腸内共生系の構築、感染および自己免疫疾患の制御、さらには、人為的なマイクロバイオームの制御に関して、マクロからミクロまで幅広い視点でマイクロバイオームを読み解こうとするものである。本セミナーが、マイクロバイオームを標的とした創薬や食事療法の礎となれば幸いである。